



H22. 9. 1. №1277
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 平成22年度 第3回天草共販入札会開催

本会では、8月18日 天草共販事業の第3回入札会を、伊豆漁協（本所）において開催しました。

第3回までの取扱累計は、数量40,363kg 本数1,617本（前年度比5,267kg、213本減）、取扱金額43,578,667円（同803,607円増）、平均価格は10,797円/10kg（同1,422円増）となりました。

なお、第3回の入札結果は次のとおりです。

▽入札数量：15,750kg（630本/25kg） ▽取扱金額：19,627,756円

▽平均単価：12,462円（10kg当たり）

▽最高価格：稲取（まくさ粗）21,490円（10kg当たり）。

<参考>次回第4回入札会の開催は、9月15日（水）です。

2. 漁業所得補償制度に係る資源・漁場管理要件のあり方説明会が開催される

全漁連では、8月9日 東京において、漁業所得補償制度に係る資源・漁場管理要件のあり方に関するブロック会議が東日本ブロックの県漁連参事クラス27名の参加を得て開催しました。

これは、「漁業者が資源管理をすることで所得補償をする」という国の漁業所得補償制度に関し、制度を動かすための資源・漁場管理のあり方について業界の意見・情報を、全漁連が系統代表として聴取する場となりました。

冒頭、全漁連の長屋常務より、「漁業共済制度及び積立プラスを更に充実強化した収入安定制度と、燃油・飼料の漁業経営セーフティーネット事業によるコスト対策を組み合わせた仕組みを、「漁業所得補償制度」として導入してほしいことを国に要望してきた。目的は資源・漁場の管理を行い漁業者の経営・収入の安定化を図ることであり、この制度を中心に漁業が産業として成り立つ構造改革をすすめたい」と挨拶がありました。

■漁業所得補償制度に係る基本認識について説明が行われました。

<概算要求の基本的な検討方向>

①共済の対象となっている漁業種類（沿岸 沖合 遠洋漁業、養殖業）を対象

②加入対象者は公的規制に加え、自主的な資源管理措置を実施する漁業者

③地域協議会（国または県、漁業団体、有識者）が資源管理の履行状況を確認

④共済掛け金・積立金に対する支援充実

■要件となる「資源管理計画」「漁場管理計画」のあり方について<協議・質疑応答>がなされ、以下のような浜の実態を交えた意見が述べられました。

・新たな資源管理への取り組みは難しい。

・現状、歴史的に公的規制に格上げされた自主管理を評価してもらいたい。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

・漁業種別に資源管理の強度を考えるべき。管理規制の強度により対象とならないものとの線引きは十分注意してほしい。

その他

・前述の地域協議会は「県行政」が立上げ運営する方向。

・参加者は漁業者。事務手続きは漁協が想定される。

・地域協議会（全国と県単位）で、資源管理の「履行確認」をし、認定の可否が判定される。

・漁協に事務費を考慮すべきだが、現状、制度本体の予算確保で精一杯な様子。

■今後のスケジュール

・8月末 国の予算概算要求、・9月9日ブロック別説明会（関東東海ブロック）

3. 「夏休み親子おさかな体験教室」で漁業を体感

—県おさかな普及協議会—

県おさかな普及協議会では、8月2日 小川漁協・魚市場を中心の会場として、「夏休み親子おさかな体験教室」を開催しました。

この教室は、当普及協議会が体感事業と併せ食育推進の一環として実施したもので、静岡県民に漁業の生産現場を通じ、漁港で水揚げされる水産物の新鮮さや美味しさを実感してもらうとともに、漁業の素晴らしさやその消費拡大を図る目的で開催されました。

一般公募で選ばれた県内の親子15組39名（子供は小学生が対象）は早朝5時に集合し、事務局より注意事項の説明を受けた後、直ちに遊漁船に分乗して焼津市和田浜沖に設置された大型定置網の網起こしの様子を間近に見学しました。

また、下船のあと普段訪れる機会のない魚市場において、定置網で漁獲された油カマス、ゴマサバ、シイラ、タチウオなどの水揚げ風景やセリが行われる様子を興味深く観察していました。

更に県水産技術研究所に移動し、職員の指導・協力のもと、親子でアジ（鮮魚）を使った魚のおろし方を体験し、三枚開きにチャレンジしました。

なお、食味体験として小川魚市場食堂では、サバの竜田揚げ・タチウオ塩焼き・カツオの刺身など魚料理を味わい、水産物の美味しさや健康食品としての魚の良さを再認識する体験となりました。

終了後、参加者からは「魚が大好きになった」、「今度、家でも魚を捌いてみます」や「大きな網を揚げる漁業者の姿がカッコよかった」という意見が聞かれ、楽しく有意義な体験教室になりました。

4. 各種実務研修会 開催のお知らせ

—協同組合課—

本会の指導部・協同組合課では22年度教育研修事業の一環として、9月に下記のとおり各種実務研修会を開催しますのでお知らせ致します。

①9月 8日（水）漁協職員管理者研修会 県水産会館 10：30～

②9月14日（火）漁協経理実務研修会 県水産会館 13：00～

③9月17日（金）漁協監事实務研修会（東部地区） 静浦漁協 14：00～

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう